



◎小学校で再び輝きを増した

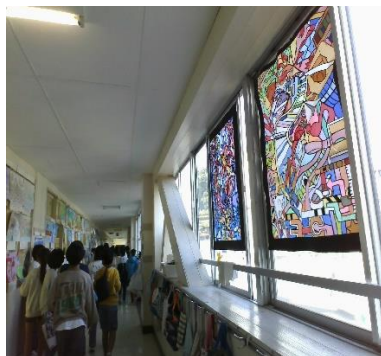
汐鳴祭のステンドグラス◎

10月14日（土）の汐鳴祭文化の部へ向けて各クラス皆で力を合わせて作り上げたステンドグラス。12月現在、二宮小学校の各階の廊下に飾られています。

小学2年の図画工作でカッターの基礎的な使い方を学んだ小学生が、細やかにカッターで切り抜かれ、絵の具で一枚一枚染めた和紙が貼られたステンドグラスを見ることで、学びのつながりを実感できればという「にのみや学園」の願いでこの企画が実現しました。

2月に予定されている一色小学校での「一色スマイルアート展」でも二宮西中学校と本校のステンドグラスを飾っていただくことになっています。

長い間、文化の部で作り続けられている‘伝統のステンドグラス’が、なんと嬉しいことに小学校と中学校をつなげる架け橋になっています。



「〇〇って知ってますか？二宮中に通っているお兄ちゃんです。」撮影しているところ元気よく挨拶をしてくれたり、このように話しかけてくれたりした小学生に気分もほっこり。

◎2年生と地域の「地域懇談会」◎

12月8日（金）の午後、総合的な学習の時間の地域学習として、2年生が地域の方との地域懇談会を行いました。学校運営協議会と連携して、農業・子育て・福祉や地域全般の分野から5名の地域の方にご協力をいただきました。一昔前は、教職員が地区別に分かれ、地域の方々と話し合う「地区懇談会」が年に一度開催されていました。今回は中学生が直接、地域の方からお話をうかがい、互いに意見を交わすという新しい企画です。

それぞれの分野からとらえた二宮町の住環境の素晴ら

しさを、町を離れて初めて実感する二宮町の良さなどが多く語られる一方で、高齢化・少子化問題、農業や商店街の存続問題、地域活動の希薄化等が共有されました。

様々な分野でご活躍され、二宮町への熱い思いを抱きながら日々暮らしている地域の方の生き様に触れることで、自分自身の考えが広げられ、今後の地域学習に新たな視点を増やすことができた貴重な時間となりました。



「二宮町の住環境は‘special’です。海が見える、人が優しい、コミュニティに溶け込みやすい。一度町を離れると二宮の良さがわかります。」「帰ってきたい町‘二宮’ですね。」と語る姿に感じられた二宮町への熱い思い。

お忙しい中、地区懇談会にご協力をいただきました地域の方、そして企画・運営のために2学年教職員を大いに支援してくださった学校運営協議会長、地域学校協働活動推進員の方々に心より感謝いたします。

◎フィットネス フェスティバル◎

体育委員会の生徒が、生徒の運動能力や健康意識の向上・促進を図るため、校舎内外に運動や健康について意識し、体験できる仕掛けを設置しました。体育館には立ち幅跳び・垂直跳びのコーナーや、校庭のスタンドには短距離走表示、中央階段を上がる際は「1kcal」「2kcal」と消費カロリーの表示を目にします。同じように町内小学校の階段の一段一段の側面には掛け算の九九や歴史の時代名などが貼られています。日常的に視界に入ること意識され、自然に記憶に残る有効な方法です。



体育館の立ち幅跳びコーナーは授業の前後に立ち幅跳びに挑戦するなど大人気。中学生の日本記録と併せてカンガルーの記録まで掲示されています。壁に貼ってある教職員4名の姿が写った‘素敵な’表示で、跳んだ距離を確認することができます。